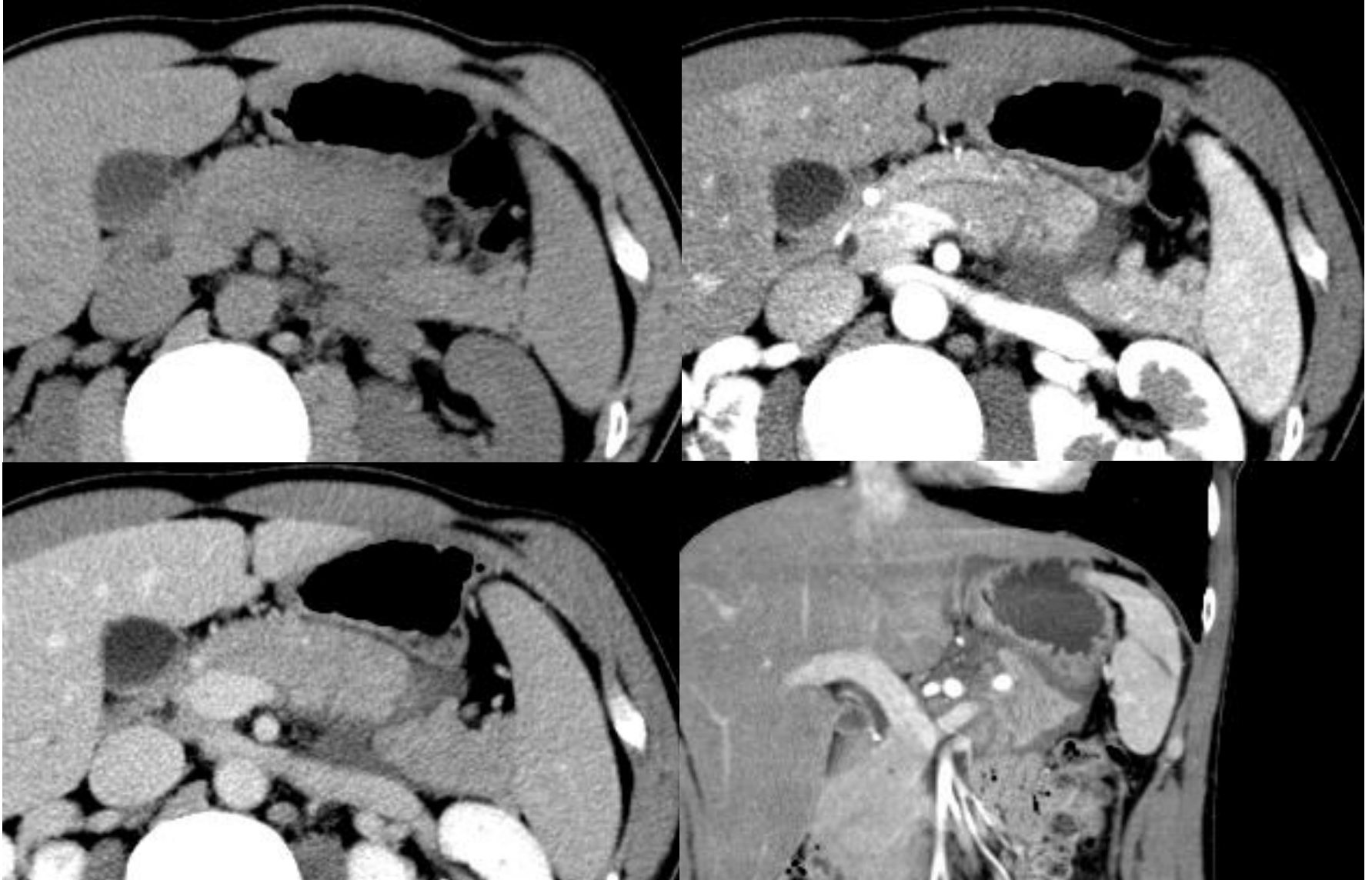


膝損傷に対するフサン動注

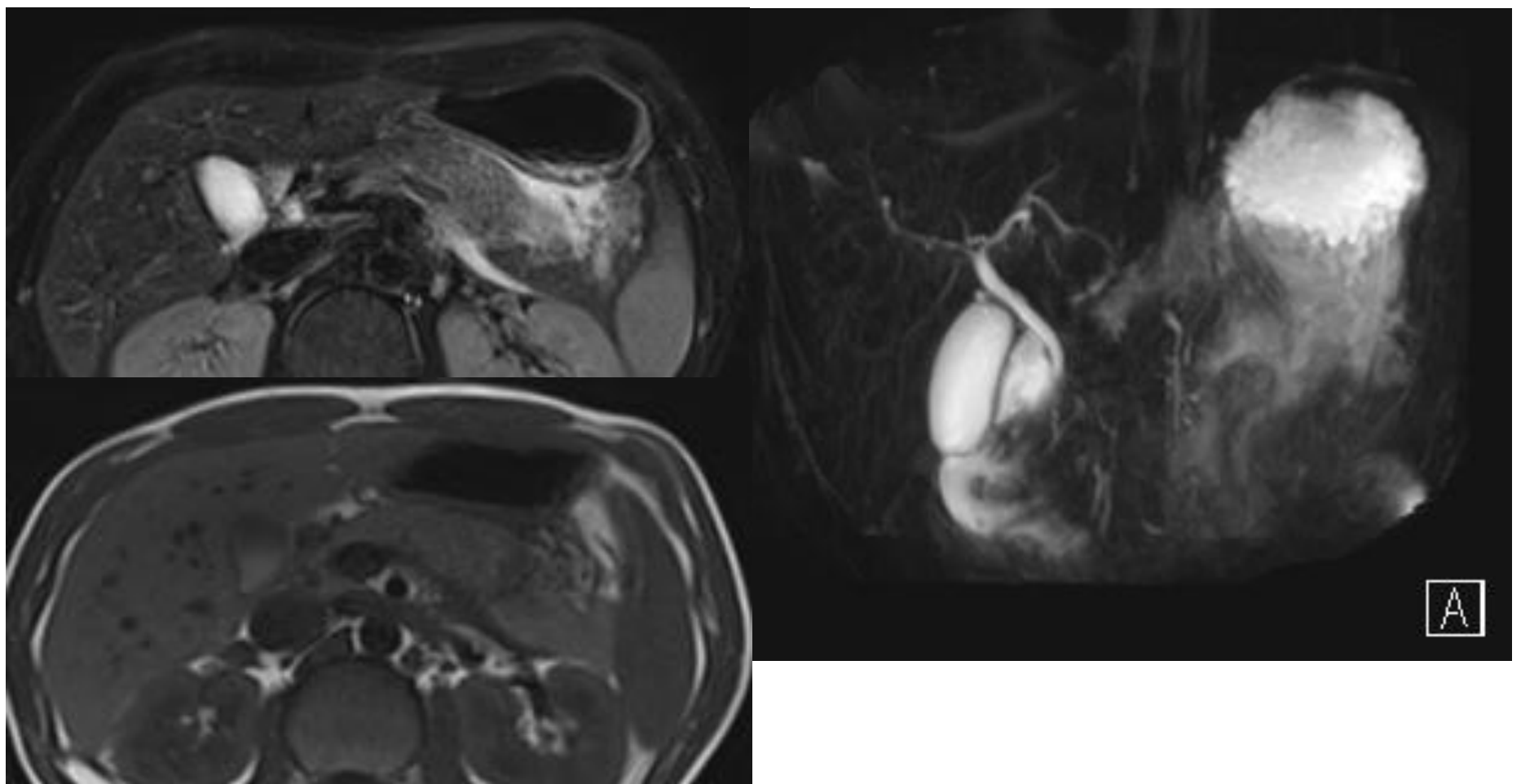
30歳代 男性

- 工場内の器械で前胸部から腹部を強打。
- 腹部打撲痕あり。呼吸困難あり。
- 意識清明、ショックなし。

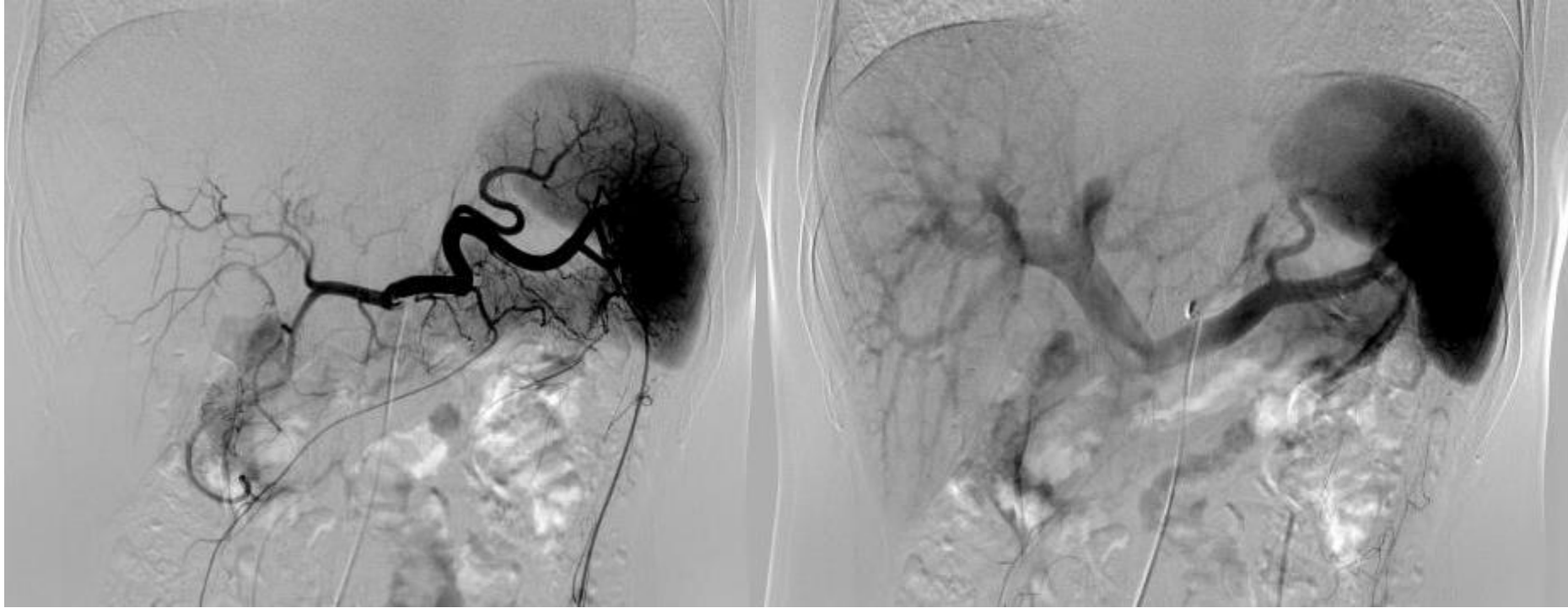
受傷時 CT



MRCP



フサン動注



RLGカテーテルを腸骨動脈分岐部で成形し、脾動脈内に先端を留置。
メシル酸ナファモスタット(フサン®) 250mg/day(10mg/hr)を5日間持続動注。



day 5



day 25

day 26 軽快退院